

新入 学部留学生 のための「日本語」履修ガイダンス

1. 大学で「日本語」を学ぶことの重要性

「N1を取ったので、もう日本語は大丈夫」と思っている人もいるかもしれませんが、大学で学ぶのに、N1合格だけでは足りません。日本語学校では、主に大学に合格するための日本語、受験のための日本語を学んできたと思います。大学では、「大学で学ぶための日本語」を勉強します。特に1年生の時に、大学で学ぶために必要な日本語を集中的に身につけておくことは、その後の大学における学修を円滑に進めていくために重要です。

2. 広島市立大学の日本語コース

①時間

1 年前期	日本語 I	火曜日 2 時限 + 木曜日 2 時限
1 年後期	日本語 II	火曜日 2 時限 + 木曜日 2 時限
2 年前期	日本語 III	火曜日 1 時限 + 木曜日 1 時限
2 年後期	日本語 IV	火曜日 1 時限 + 木曜日 1 時限

②内容

日本語 I、日本語 II、日本語 III、日本語 IVを通して、大学で学ぶための日本語能力を伸ばします。日本語 I から IV に向けて徐々に難易度が上がっていきます。

(*1年生の間に「日本語 I」と「日本語 II」を履修することを強くお勧めします。)

日本語 I

大学生活で最も優先度の高い日本語を学びます。レポートの書き方と発表の仕方を中心に学びますが、リアクションペーパーの書き方、教職員に対するメールの書き方、奨学金申請書の書き方なども学びます。

日本語 II

日本語 I よりも難しいテーマや自分の専門に近いテーマでレポートの書き方や発表の仕方を学ぶ中で、使える語彙や表現を増やしていきます。資料を読み解く能力も高めていきます。

日本語 III・日本語 IV

4 技能を総合的に仕上げていきます。日本語 IV が終わる頃には卒業論文を日本語で

書ける自信もついているはずですが。(受講者に日本での就職希望者が多い年には日本語Ⅲまたは日本語Ⅳでビジネス日本語を扱うこともあります。)

3. 広島市立大学の卒業要件（外国語系科目）と「日本語」の履修

【国際学部】

〈必修〉英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ、CALL 英語集中Ⅰ、CALL 英語集中Ⅱ
+ 英語以外の同一の外国語科目（計4単位）
…例：日本語Ⅰ（2単位）・日本語Ⅱ（2単位）

〈選択〉英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、CALL 英語集中Ⅰ、CALL 英語集中Ⅱ
or 英語以外の同一の外国語科目（計4単位）
…例：日本語Ⅲ（2単位）・日本語Ⅳ（2単位）

【情報科学部】

〈必修〉英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ、英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、eラーニング英語Ⅰ、eラーニング英語Ⅱ、eラーニング英語Ⅲ、eラーニング英語Ⅳ

〈選択〉なし

「日本語」の単位は、「外国語系科目」、「全学共通科目等計（33単位）」のところでカウントされます。必修単位だけ履修すると「全学共通系科目等計」は28単位で、5単位足りません。そこで、「総合共通系科目」か「外国語系科目」から自分で選んで取得することになります。

例1：日本語Ⅰ（2単位）、日本語Ⅱ（2単位）、日本語Ⅲ（2単位）

例2：日本語Ⅰ（2単位）、日本語Ⅱ（2単位）+その他の科目

【芸術学部】

〈必修〉CALL 英語集中Ⅰ、CALL 英語集中Ⅱ、英語応用演習Ⅰ、英語応用演習Ⅱ

〈選択〉2単位

英語応用演習Ⅲ、英語応用演習Ⅳ、CALL 英語集中Ⅲ、CALL 英語Ⅳ、
英語以外の外国語系科目… 例：日本語Ⅰ（2単位）

また、芸術学部の学生は「全学共通系科目等計」が30単位必要ですが、必修単位だけ履修すると28単位で2単位足りません。

→例：日本語Ⅱ（2単位）も履修すると30単位になります。

(参考)『学修の手引き』より

卒業要件

卒業するためには、4年（3年次編入学生にあっては2年）以上在学し、次の表に定める単位を修得しなければなりません。この要件は、卒業するまで有効です。必ず自身の入学年度の要件を確認してください。

区 分		国際学部	情 報 科 学 部				芸 術 学 部	
			情 報 工 学 科	知 能 工 学 科	システ ム 工 学 科	医 用 情 報 科 学 科	美 術 学 科	デ ザ イ ン 工 芸 学 科
全学共通系科目 (A)	広島・地域志向科目	2単位以上	2単位以上				2単位以上	
	平和科目	2単位以上	2単位以上				2単位以上	
	共通科目A(人間と社会)	4単位以上	4単位以上				4単位以上	
	共通科目B(数理と自然)	2単位以上	4単位以上				2単位以上	
	共通科目C(芸術)	2単位以上	2単位以上				2単位以上	
	初年次演習科目	1単位	1単位				1単位	
	キャリア形成・実践科目	1単位以上	1単位以上				1単位以上	
	総合共通科目小計	14単位以上	16単位以上				18単位以上	
	一般情報処理科目	2単位	2単位				2単位	
保健体育科目	2単位	2単位				2単位		
外国語系科目(B)		12単位以上	8単位以上				6単位以上	
全学共通系科目等計(A+B)		30単位以上	33単位				30単位	
専門教育科目	専門基礎科目	9単位以上	95単位				22単位	
	専門科目	84単位以上	95単位				76単位	
	計	93単位以上	95単位				98単位	
卒業必要単位数		128単位	128単位				128単位	

* よくある質問(FAQ)

Q1：「日本語」も取りたいのですが、他の外国語も勉強してみたいです。どうすればいいですか。

A1：大学での勉強を順調に進めるために、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」を優先して履修してください。他の外国語を学ぶ方法には次の二つがあります。

①日本語の単位を取り終わってから取る。(国際学部は3年次以降、芸術学部・情報学部は2年次以降。国際学部の場合、同一の外国語で8単位が必要な点に注意すること。)

②他学部の外国語の授業を取る。(教務グループに相談しに行ってください。)

解決例：国際学部の1年生が「日本語Ⅰ（火曜日2時限+木曜日2時限）」を履修しながら、芸術学部の「フランス語Ⅰ（火曜日1時限+木曜日1時限）」を履修する。

Q2：「日本語」も取りたいのですが、同じ時間にある「体育実技」も取りたいです。どう

すればいいですか。

A2：大学での勉強を順調に進めるために、「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」を優先して履修してください。そのうえで、他学部の「体育実技」が取れるように教務グループに相談しに行ってください。

解決例：情報学部の1年生が「日本語Ⅰ（火曜日2時限+木曜日2時限）」を履修しながら、国際学部の「体育実技Ⅰ（火曜日1時限）」を履修する。

「日本語」の授業に関する問い合わせ先

重田 美咲（しげた・みさき）

国際学部 准教授

Tel：082-830-1845

E-mail：shigeta-m@hiroshima-cu.ac.jp

Office：語学センター415